

時事新報

商安を如何せん (昨日の續)

我輩は炭礦鐵道會社保護金廢止の議決を以て議會が商安を重視するものとし大に其非を論じたれども更に...

に然るに我國の議會は政治論の喧しきに似ず商賣の事には毫も注意せざるのみならず其政治論も多くは極端より極端に傾き定論の見ざる可きものありて其決議の往々案外のものあるは現に豫算案の成行を見ても...

雑報

○特に近衛兵を附せらる 故三條内大臣葬送の節は特旨を以て儀仗兵として近衛兵を附せらるる旨一昨二十一日仰出されたりと

○汽船芙蓉丸の遭難に就て 去る十一日の長崎エキスフレックス新聞が三菱汽船芙蓉丸の遭難に付き記述したる大要に曰く汽船芙蓉丸は横濱より歸航の途中...

クラーク氏は三十萬圓程の財産を遺し去る二十日死に去したるよし

○岐阜縣美濃國醫業者の運動 岐阜縣美濃の醫務組合商は目下の一問題ある醫務検査法の件に付去月二十九日より三十一日迄三日間同縣會館講堂に於て臨時會を開きたるに...

○東京マツタ業者の計畫 我國の糖業は日尙淺きにも拘らず昨二十三年度の輸出額は本邦國産中製作品の第二三位を占むる迄に發達したるが此程東京府下の同業者は從來支那人若くは他外國人の掌握に歸したる商權を回復し専ら本業の隆盛を計らん爲め大坂兵庫名古屋及び静岡等の同業者と連絡を通じ東洋の販賣を一括して直輸出を計畫するの目的を以て一の輸出會社を創設せん爲め東京部は櫻本組の櫻本重美、倉知義雄の兩氏を委員に推選したるよし

○上海定期船の臨時代用 橫濱上海間を往復する日本郵船會社の郵船は從來神戸丸西京丸横濱丸の三艘なりしに前號にも記せし如く横濱丸は船體修繕の爲め横須賀船渠に入りしを以て同航休航中は暫らく函館橫濱間の定期船をして神戸迄代船せしめ同港より神戸丸西京丸の二艘をして上海に引返さしむる事にありし由にて明二十四日も薩摩丸を神戸迄代用し同港より西京丸を再び上海に戻らしむる筈ありと云ふ

○大坂株式取引所 近來株券の下落に伴ひ何れの株式所も賣買振はず殊に大阪株式取引所の如きは一層の不振を來し爲めに仲買人中次第に廢業するの傾を生じたるより仲買人長江伊太郎氏外數名の發業にて從來會社に預け來たりし仲買人の身元金と同所株券一枚一ヶ月一人に付十圓宛の信託積立金を今度金高一人に付五百餘圓宛賣買證據金に代用するとおし以て賣買擴張の策を設けたりと云ふ

○製茶の氣配及び在荷の欠乏 橫濱に於ける二十三年度の茶貿易は總じて可憐の好結果を得たり只新茶の出初めし時に當て不幸にも外國爲替相場の大變動を起したるより忽ち相場に影響を與へ延びて一時賣行の盛りたるより漸次活潑の取引ありて遂に本年二月十一日迄に二千五百五十九萬六千餘斤の賣込額に達するを得又神戸に於ても千五百八十七萬四千五百餘斤の賣込額を見るに至れり即ち是を前年度に比較すれば横濱は二百廿七萬九千五百斤、神戸は百六十二萬四千五百斤の増加にて此の數を以て既往十年間に比するも昨年度の如き多額の賣込ありしは未だ嘗て聞かざる處なれば輸出増加の一點に於ては近年無比と云はざるべからず尤も價格は前年より平均二三弗安直ありしも昨今品撻底あるより大に價格を回復し前年と大差なきに至りしを以て先づ當季間の茶貿易は隆盛を極めたりと云ふも敢て過言ならざるべし又現今に至ては在荷非常に減少し十七萬斤の少數をありしも四十八番、百七十八番十番品を採すにすも容易

○名古屋の相 比世に隠れあに由らんがと企てたれど組を興し歸京古屋に在るや爲したればが門弟の技倆待して見物せ付西ノ海、小島北海等の一行

Vertical text on the left margin containing publication details and prices.